

学校建設についての質問と回答 2

【2023年12月15日】

柴田：先日、香春の義務教育学校を見に行きました。僕はそのときに、この子たちいいなと思うと同時に、桂川の子、かわいそうやなと思いました。

でも、かわいそうやなってのはおかしいよな。そうしているのは誰なん。僕なんだ。非常に申し訳ないと思いました。

親ガチャという言葉があります。いわゆるガチャガチャで何が出るかわからん。親ガチャは、どこに生まれるかで、その人の選択肢は広がったり狭まったりする。厳しい家庭に生まれたら、高校行くのも難儀するし、大学なんて難しい。ある面、裕福なところに生れれば、ずっと選択肢が広がり、留学もでき、そういう形になる。親ガチャと言われています。で、これ町ガチャやなと思いました。どこの町に生まれるかによって、子供たちの可能性が広がる、広がらんがあるんじゃないか。

なぜそう言っているかというたら、40年、50年前の入れ物の中じゃ、今の教育はできないんです。言うても分からんと思います。見てください。

(略)

協議会や委員会を設置して、このテーマに絞って、話し合わないとは先へ進まないとか、いつまでするんですか、この状況。やっぱり設置が必要だと思います。町長いかがですか。

町長：現時点では、やっぱりそのような状況にはないと、そのように認識をしております。

柴田：私、その言葉、5年間聞き続けてきています。5年間。そういう状況にない。つくってください。じゃあ、どこがどうなんですか。そこ言ってください。3月はそこを聞きます、具体的に。そういう状況にないという状況、どういう状況ですかということ。

そして、昨日、「行政に責任を持つ者として」という言葉を使われました。この問題を先送りするのは、行政に対して責任を持つ者として、この問題を先送りにしていいんですか。非常に大きな問題だと思います。考えていただきたいんですが、どうですか。

町長：言葉の取り違いがあろうかと思いますが、いわゆる質問の中で、非常に漠然とした数字が出されたこともあります。

(つづく)

ですから、この学校の建設、あるいは統合とか再編も伴うかもしれませんが、そういったことも踏まえて、何か具体的な見えてくるもの、これも表現が悪いかと思えますけれども、いわゆる建設をするというような目標、例えばそれにはある程度の期限、それから先ほど言いました学校の形態、場所、そういったものがある程度目安がないと、ただ単に意見だけを戦わせる、意見だけを聞くということでは、それでは、かえって住民の皆さんに迷惑をかけるような、そういう気がします。

ですから、そういうための事前の状況づくり、そういったものが必要であると、そういう意味で申し上げました。

柴田：だから、それが5年間進んでないんです。今言われたの分かるんです。総合教育会議の中で、ある委員さんは、桂川小も2つに分けて3つにしたらという方がいらっしゃいました、小学校3つに。私の知り合いは桂川小から桂川東小に行って落ち着いてるって言うんです。要因は何、地域性。いや、子供の数だと思いますよ。だったらもう桂川を東西南北小学校造ったらどうですか、彼は言う。お金のこと考えてないんです。

先ほど言われたように、あれこれの意見じゃなくて、じゃあどこに建てればいいのか、お金はどうするのか、そういったことを考える委員会なんです。空中戦は要りません。ちょっと発想を変えてお願いしたい。